



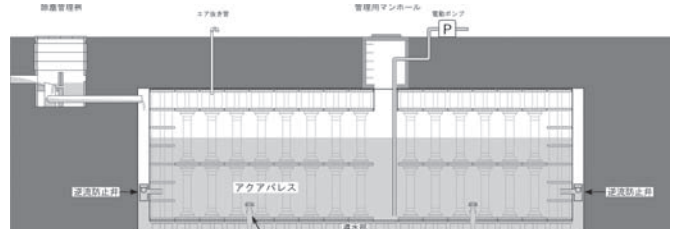
高井 征一郎代表

東京都 → インド
(株)トーテツ

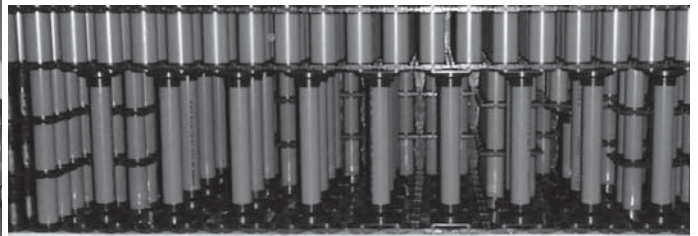
独自の雨水地下貯留システムで 深刻な水不足問題の解決に貢献



ユニバーサル地下貯留システム。作業員が内部に入り、点検・整備ができる点も大きな特徴だ。円筒形のプラスチック部材が雨水貯留材「アクアパレス」



ユニバーサル地下貯留システムの概念図



セル型二重構造の様子。組立性能や耐圧性に優れる

(株) トーテツの創業は1919年(大正8年)。土木・建築用の金網製造を主力業務とした東洋鉄網製造(株)を前身とする。現在は金網製造分野は大幅に縮小したため、近年は雨水の貯留と有効利用の総合メーカーとして各種機器、システムの開発・製造に注力している。

主力製品のひとつが、都市型洪水を防止し、雨水の有効利用を促進するプラスチック部材「アクアパレス」だ。このアクアパレスを貯留材として積み上げ、同社の除塵管理枘とセル型二重構造による雨水貯留槽を地下空間に構築。洪水防止の役割を担いつつ、雨水を長期、かつ安全に貯水するという「ユニバーサル地下貯留システム」は、“雨水の資源化”

を実現する技術として徐々に市場性を高めている。

同社にJICA中小企業海外展開支援事業の情報を紹介し、急激な経済成長と人口増により深刻な水不足に直面するインドでの事業展開をアドバイスしたのが、主に環境コンサルティングサービスを提供するマイクライメイトジャパン(株)だ。インドでは水不足の深刻化に伴い、特に雨期における効果的な雨水の貯留が重要になっているが、従来工法による建設ではコストが割高になることなどから、地下貯留は十分に進んでいない状況だ。そこでマイクライメイトジャパンは、組立性能や耐圧性にも優れ、さらに安価なユニバーサル地下貯留システムがマッチングする

のではないかと考えたのだ。

トーテツが2014年度のJICA中小企業連携促進基礎調査に応募し、採択された「水の需給ギャップを埋めるプラスチック製雨水地下貯留システムの製造販売事業調査(中小企業連携促進)」では、特に水不足が深刻なインド・タミルナドゥ州を対象に、現地の水事情や雨水利用の需要を調査・計測するとともに、州政府関係機関との意見交換を重ね、現地の協力体制などを見極めている。高井征一郎社長は「事業展開の可能性は非常に高い」とし、公的な支援制度の活用を検討するとともに、独自に事業展開に向けた準備にも着手。二段構えで取り組んでいく考えだ。

[外部人材参加：マイクライメイトジャパン(株)]